

令和 2 年度 森林づくり推進支援金事業総括書

市町村名

喬木村

No.	事業項目	事業名
1	木を生かした力強い 産業づくり	間伐材利用促進事業
事業費		2,937,000円 (うち支援金: 689,000円)

事業目的

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 地域の森林・林業の現状と課題

九十九谷森林公園は、平成 4 年から 6 年度にかけて整備された森林公園であり、九輪草観光など県外からも多くの観光客が訪れている。

平成 20 年度から地域間伐材を使用し老朽化が進んだ木製遊歩道等の更新に取り組んでいるが、広範囲に渡るため、危険な場所が残っている状況である。

(2) 本事業の目的

敷設してからの経年劣化及び観光客が利用するには危険な状況となっている木道等の掛け替えを進め、施設の安全対策を図るとともに、利用者が安心して森林に親しむ機会を提供し、地域材の PR を図った。

事業内容

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 実施場所 九十九谷森林公園

(2) 実施方法 老朽化した木橋の架替工及び木製遊歩道の敷設工

(3) 事業目標及び当年度事業量

①全体計画 (平成 30～令和 4 年度)

平成 30 年度 木製遊歩道架替 (L=67m 大和知洞)

令和元年度 木製遊歩道架替 (L=53m 大和知洞)

令和 2 年度 木製遊歩道架替 (L=16m 大和知洞)

木製橋架替 (1 箇所 大和知洞)

丸太柵設置 (L=20m)

令和 3 年度 木製橋架替 (4 箇所)

令和 4 年度 木製遊歩道架替 (L=250m 木炭洞)

②令和 2 年度実績

令和 2 年度 木製遊歩道架替 (L=16m 大和知洞)

木製橋架替 (1 箇所 大和知洞)

丸太柵設置 (L=20m)



事業効果

(別記様式第1号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 事業実施の効果

地域間伐材を使用することにより、森林整備及び林業の活性化を図ることができた。また、施設更新を進めることにより、地域住民や観光客が安心して森林に親しむ機会を提供できた。

(2) 継続性

施設更新を進めることにより、継続的な地域材の有効活用が図られた。また、アクセス条件に恵まれた森林公園であるため、遊歩道の更新と併せて開設も進めることにより、新たな誘客も期待できる。

(3) 普及性

利用者の目につきやすい場所に、当該事業による旨記載した案内板を設置する等、広く事業効果の周知を図った。

事業の検証及び評価

(実施結果を踏まえた自己評価と今後の取組方向について具体的に記載)

(1) 目標に対する成果の状況

間伐材の利用促進による地域林業の活性化を図ると共に、地域住民や観光客が安全に森林に親しむ場を提供できた。

(2) 課題

森林公園の施設整備を進めるためにこの事業は有効であった。荒廃した遊歩道はルート変更も念頭に置きつつ、さらに森林に親しみやすい場として整備していく必要がある。

(3) 今後の取組方向

■事業を現行どおり継続する

(今後の事業実施見込について記載)

九十九谷森林公園は、くりん草が咲く5月から6月を中心に多くの観光客が訪れるため、平成20年度から県の森林税事業を活用し、継続して遊歩道や水路の改修を行ってきた。

リニア中央新幹線及び三遠南信自動車の開通により、将来的には広範囲からの誘客も念頭に置きつつ、地域住民のみではなく観光客も気軽に立ち寄ることができる場として、また、安全に森林に親しむことができる場として、今後も計画的に整備を進めていきたい。